

フリーダイヤル・ナビダイヤル
ご利用のお客さま各位

2022年7月19日
NTTコミュニケーションズ

カスタマコントロールにおける多要素認証 の導入について

平素は弊社サービスに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、フリーダイヤルおよびナビダイヤルサービスにおいて提供中のカスタマーコントロールにおきまして、不正アクセス等よりお客様設定情報を守ることを目的に多要素認証（ワンタイムパスワード認証：無料）を導入いたします。

【対応内容】

カスタマーコントロールへログイン時、通常のID/PWでの認証に加え、ワンタイムパスワード（お客様登録メールアドレスに送付）による認証を追加いたします。
また、あわせてメールアドレス/キーワード設定を必須とさせていただきます。（※1）

（※1）多要素認証導入後のログイン時以降に設定必須となります。
（初回ログイン時に登録することも可能ですが、ログイン時にスムーズに対応いただくため、事前登録をお願いいたします。）

【対応工事予定日】

2022年10月20日 AM2:00～6:00（※2）

（※2）工事日につきましては変更となる可能性がございます。

【多要素認証利用の選択について】

多要素認証をご利用いただくことで、アカウントのセキュリティを強化し第三者による不正侵入からの防御をより高めることが可能となります。
利用いただくことを推奨しますが、お客様環境により対応が困難な場合は多要素認証を利用しないことも選択可能です。（※3）

（※3）多要素認証導入後のログイン時に利用する/しないの選択は必須となります。

ご不明な点がございましたら、ご迷惑をお掛けいたしますが下記までご連絡ください。
高度電話カスタマセンタ0120-432060

限定システム選択メニュー (多要素認証対応工事後の初回ログイン時に表示)



システムメニュー

- ☒ メールアドレス/キーワード/認証設定
- ☐ 多要素認証ご利用方法
- ☐ パスワードロックアウト解除方法

【重要なお知らせ】

多要素認証設定、およびパスワードロックアウト解除のための「メールアドレス/キーワード/認証設定」登録メニューとなります。カスタムコントロールの利用にあたり、メールアドレス/キーワードワンタイムパスワード認証を利用する/しないの登録が必須となります。システムメニューから「メールアドレス/キーワード設定/認証設定」を選択し登録をお願いいたします。

※登録いただくことで、多要素認証（ワンタイムパスワード認証）がご利用いただけます。
 ※多要素認証を利用いただくことにより、アカウントのセキュリティを強化し第三者による不正侵入からの防御をより高めることが可能となります。多要素認証の利用を推奨いたしますが、お客様環境により対応が困難な場合は多要素認証を利用しないことも選択可能です。
 ※登録完了後は本メニューは表示されなくなります。（登録内容の変更は通常メニューの「メールアドレス/キーワード/認証設定」から実施できます。）



「重要なお知らせ」をご覧いただくには、Adobe Readerがインストールされている環境が必要となります。

画面設定

- ①ワンタイムパスワード認証：利用する/利用しない（選択は必須）
- ②メール：設定（必須）
- ③キーワード：設定（必須）

メールアドレス/キーワード/認証設定

キーワード： (半角英数字8～20桁)

ワンタイムパスワード認証：

項目	E-mailアドレス	備考	テストメール
1			メール送信
2			メール送信
3			メール送信
4			メール送信
5			メール送信
6			メール送信
7			メール送信
8			メール送信
9			メール送信
10			メール送信

保存 ☐ 保存時にキーワード通知メールを送信する。

「ワンタイムパスワード認証」
選択BOXが追加

メールアドレス/キーワード/認証設定

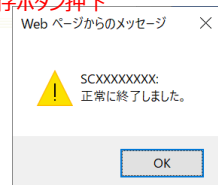
③ キーワード： (半角英数字8～20桁)

① ワンタイムパスワード認証：

項目	E-mailアドレス	備考	テストメール
1			メール送信
2			メール送信
3			メール送信
4			メール送信
5			メール送信
6			メール送信
7			メール送信
8			メール送信
9			メール送信
10			メール送信

保存 ☐ 保存時にキーワード通知メールを送信する。

保存ボタン押下



ワンタイムパスワード
送付用
アドレスとして利用

プルダウンの値
・白（初期値）
・利用しない
・利用する

※キーワード、メールアドレス登録済みの場合も同画面

通常システムメニュー

前頁設定保存後に通常システムメニュー画面に移行する。



NTTコミュニケーションズ
www.ntt.com

ログアウト

システムメニュー

- ☑ カスコ/Webシステム
- ☑ トラックレポートシステム
- ☑ カスタマコントロール操作マニュアル
- ☑ パスワード変更
- ☑ メールアドレス/キーワード/認証設定
- ☑ 多要素認証ご利用方法
- ☑ パスワードロックアウト解除方法



「認証設定」が追加
「多要素認証ご利用方法」が追加



カスタマコントロール操作マニュアルのダウンロードは、システムメニューのカスタマコントロール操作マニュアルをクリックして下さい。



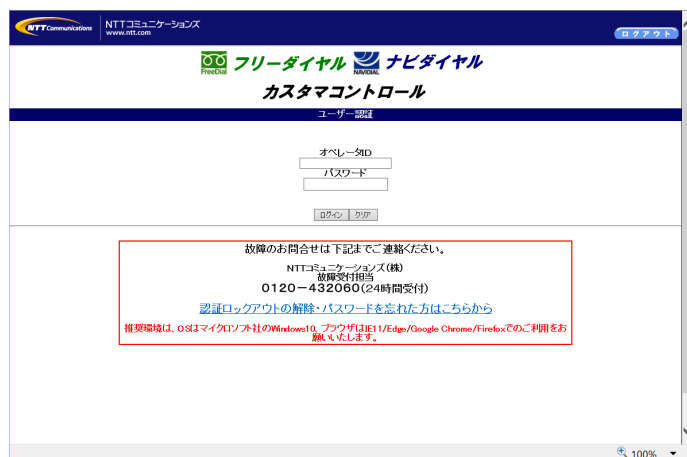


「重要なお知らせ」をご覧いただくには、Adobe Readerがインストールされている環境が必要となります。

メールアドレス/キーワード設定/認証設定の変更は通常システム画面からも可能

ワンタイムパスワード利用時の画面遷移

ログイン画面



NTT Communications ログイン画面

フリーダイヤル ナビダイヤル

カスタマコントロール

ユーザー認証

オペレータID
パスワード

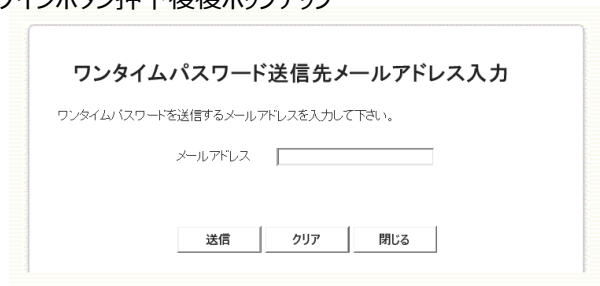
ログインボタン

故障のお問合せは下記までご連絡ください。
NTTコミュニケーションズ(株)
故障受付担当
0120-432060(24時間受付)
[認証ロックアウトの解除・パスワードを忘れた方はこちらから](#)
推奨環境は、OSはマイクロソフト社のWindows10、ブラウザはIE11/Edge/Google Chrome/Firefoxでの利用をお願いします。

多要素認証（ワンタイムパスワード認証）ご利用時

ログイン画面にてオペレータID/パスワード投入
しログインボタン押下後ポップアップ

メールアドレスが登録されたものと合致した
場合、ワンタイムパスワード入力画面がポップアップ



ワンタイムパスワード送信先メールアドレス入力

ワンタイムパスワードを送信するメールアドレスを入力して下さい。

メールアドレス

送信 クリア 閉じる



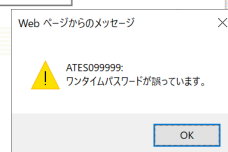
ワンタイムパスワード認証

ワンタイムパスワードを入力して下さい。

ワンタイムパスワード

送信 クリア 閉じる

失敗時のポップアップ
(3回失敗で再
ログイン要となります)



Web ページからのメッセージ

ATE50999999:
ワンタイムパスワードが誤っています。

OK

通常システムメニュー画面



NTT Communications ログイン画面

システムメニュー

- カスタムWebシステム
- トラフィックレポートシステム
- カスタマコントロール操作マニュアル
- パスワード変更
- 認証方式/メールアドレス/キーワード設定
- 多要素認証ご利用方法
- パスワードロックアウト解除方法

カスタマコントロール操作マニュアル

カスタマコントロール操作マニュアルのダウンロードは、システムメニューのカスタマコントロール操作マニュアルをクリックして下さい。

Adobe Reader

「重要なお知らせ」をご覧ください。Adobe Readerがインストールされている環境が必要となります。

ワンタイムパスワード送信メール 内容

◆送信元アドレス：no-reply@freedialnavidual.jp

◆件名： NTTコミュニケーションズからワンタイムパスワード発行のお知らせ

◆文面

こちらは、NTTコミュニケーションズです。
平素は弊社サービスに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

カスタマコントロールWebシステムのワンタイムパスワード認証要求画面に、
下記のワンタイムパスワードをご入力ください。

ワンタイムパスワード：XXXXXX

※本メールにお心あたりがない場合は、第三者がログインしようとしている
可能性がありますので、パスワードの変更をお勧めいたします。

このメールはシステムにより自動発信されております。
本メールに返信していただきましても、ご質問・ご依頼などにはお答えで
きませんので、返信しないよう、あらかじめご了承ください。

本件に対するお問合せは下記までご連絡ください。

NTTコミュニケーションズ（株）
故障受付担当
0120-432060（24時間受付）

※問い合わせ先電話番号は実際の多要素認証導入時変更となる可能性があります
（メールに記載されている問い合わせ先にご連絡ください）

カスコン業務 オペレータID登録業務

オペレータID登録業務

保存 閉じる

オペレータID : 抽出 オペレータIDクラス :

<オペレータ情報>

パスワード : アクセス種別 :

<発ID情報>

項番	発ID	項番	発ID	項番	発ID	項番	発ID	項番	発ID
1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

<端末使用者情報>

端末使用者所属名 :
 端末使用者名 :
 端末使用者連絡先番号 : キーワード : (半角英数8～20桁)
ワンタイムパスワード認証 : 追加 (入力必須)
 操作区分 : 操作対象 :
 カスコン実行業務区分 : トラヒック照会業務区分 :
 備考 :

<操作対象情報>

項番	サービス番号	契約者名	操作番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

<E-mail情報>

項番	E-mailアドレス	備考	テストメール
1			メール送信
2			メール送信
3			メール送信
4			メール送信
5			メール送信
6			メール送信
7			メール送信
8			メール送信
9			メール送信
10			メール送信

※オペレータID変更・照会業務も同様の箇所にワンタイムパスワードのカラムが追加となります。

※オペレータID登録・変更業務にて「ワンタイムパスワード認証」を「空白or利用しない」⇒「利用する」に変更した場合、「保存」ボタン押下時の文言は下記となります。

◎「実行します。よろしいですか？」

E-mail情報に登録いただいたメールアドレスがワンタイムパスワード認証時の送信アドレスとなります。誤ったメールアドレスを登録されると、ワンタイムパスワード認証が利用できませんのでご注意願います」

カスコン業務 オペレータID変更業務

オペレータID変更業務

閉じる

操作対象

:

全て

▼

サービス番号

:

オペレータID状態

:

使用中

▼

操作対象番号

:

検索

次検索

ワンタイムパスワード認証
利用識別（利用する/しない）
を追加



<照会結果>									
項番	選択	オペレータID	操作対象	操作区分	カスコン実行業務区分	トラヒック照会業務区分	トラフィックレポート業務区分	オリジナルトラフィックレポート業務区分	ワンタイムパスワード認証
1	詳細	aaa	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
2	詳細	bbb	サービス番号	カスコン+トラヒック	不可	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
3	詳細	ccc	サービス番号	カスコン+トラヒック	照会のみ	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
4	詳細	ddd	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
5	詳細	eee	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
6	詳細	fff	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
7	詳細	ggg	サービス番号	カスコン+トラヒック	照会のみ	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
8	詳細	hhh	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
9	詳細	iii	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する
10	詳細	jjj	サービス番号	カスコン+トラヒック	全業務	利用状況照会	レポート管理	可	利用する